

## 受益者の皆さまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、「インベスコ 世界厳選株式オープン<為替ヘッジあり> (毎月決算型) / <為替ヘッジなし> (毎月決算型)」は、このたび、第120期の決算を行いました。

当ファンドは日本を含む世界各国（エマージング国を除く）の株式を実質的な主要投資対象とし、投資信託財産の長期的な成長を目標に積極的な運用を行いました。

ここに、当作成対象期間の運用経過等についてご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。



## インベスコ 世界厳選株式オープン <為替ヘッジあり> (毎月決算型) / <為替ヘッジなし> (毎月決算型)

愛称：世界のベスト

追加型投信 / 内外 / 株式



<為替ヘッジあり (毎月決算型) > <為替ヘッジなし (毎月決算型) >

第120期末 (2023年12月25日)		第120期末 (2023年12月25日)	
基準価額	12,836円	基準価額	9,051円
純資産総額	6,616百万円	純資産総額	1,049,053百万円
第115期～第120期		第115期～第120期	
騰落率	8.5%	騰落率	10.6%
分配金(税込み)合計	280円	分配金(税込み)合計	900円

(注) 騰落率は分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

- 交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面です。その他の内容については、運用報告書(全体版)に記載しております。
- 当ファンドは、投資信託約款において運用報告書(全体版)に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書(全体版)は、インベスコ・アセット・マネジメント株式会社のホームページにて閲覧・ダウンロードいただけます。
- 運用報告書(全体版)は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

<運用報告書(全体版)の閲覧・ダウンロード方法>

右記<お問い合わせ先>のホームページにアクセスし、「ファンダー一覧」等から運用報告書(全体版)を閲覧およびダウンロードすることができます。

## 交付運用報告書

第115期 (決算日 2023年7月24日)

第116期 (決算日 2023年8月23日)

第117期 (決算日 2023年9月25日)

第118期 (決算日 2023年10月23日)

第119期 (決算日 2023年11月24日)

第120期 (決算日 2023年12月25日)

作成対象期間 (2023年6月24日～2023年12月25日)

## インベスコ・アセット・マネジメント

東京都港区六本木六丁目10番1号六本木ヒルズ森タワー14階

<お問い合わせ先>

お問い合わせダイヤル：(03)6447-3100

(受付時間：毎営業日の午前9時から午後5時)

ホームページ <https://www.invesco.com/jp/ja/>



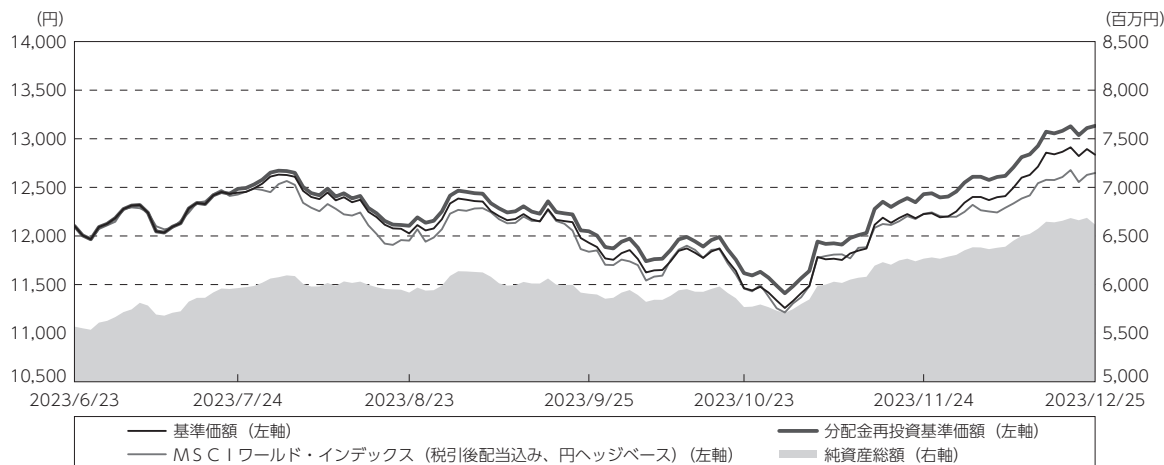
見やすく読みまちがえにくい  
ユニバーサルデザインフォントを  
採用しています。

## インベスコ 世界厳選株式オープン&lt;為替ヘッジあり&gt; (毎月決算型)

## 運用経過

## 作成期間中の基準価額等の推移

(2023年6月24日～2023年12月25日)



第115期首：12,104円

第120期末：12,836円 (既払分配金(税込み)：280円)

騰落率：8.5% (分配金再投資ベース)

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 当ファンドのベンチマークは、設定日から2023年9月20日までは「MSCIワールド・インデックス(円ヘッジ指数)」、2023年9月21日以降は「MSCIワールド・インデックス(税引後配当込み、円ヘッジベース)」に変更しています。ベンチマークは指数化し、結合したものを掲載しています。以下、同じです。
- (注) 分配金再投資基準価額およびMSCIワールド・インデックス(税引後配当込み、円ヘッジベース)は、作成期首(2023年6月23日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- (注) MSCIワールド・インデックス(税引後配当込み、円ヘッジベース)は、ベンチマークです。ベンチマークは、今後、他の指数へ変更されることがあります。ベンチマークの詳細は22ページをご参照ください。以下、同じです。

## ○基準価額の主な変動要因

## 【上昇要因】

- 日本を含む世界各国(エマージング国を除く)の株式を実質的な主要投資対象としているため、ポートフォリオにおいて投資対象市場が上昇したことが、基準価額の上昇要因となりました。
- 独自の財務分析、経営力、ビジネス評価などのファンダメンタルズ分析と株価の適正水準評価などに基づくボトムアップ・アプローチにより銘柄選択を行った結果、3I GROUP(英国/金融サービス)、BROADCOM INC.(米国/半導体・半導体製造装置)、KKR(米国/金融サービス)などの株価の上昇が、基準価額の上昇要因となりました。

## [下落要因]

- ・日本を含む世界各国（エマージング国を除く）の株式を実質的な主要投資対象としているため、ポートフォリオにおいてデンマークやフィンランドなどの投資対象企業の株価が下落したことが、基準価額の下落要因となりました。
- ・ROYAL UNIBREW A/S（デンマーク／食品・飲料・タバコ）、AIA GROUP（香港／保険）、RECKITT BENCKISER GROUP（英国／家庭用品・パーソナル用品）などの株価が保有期間に下落したことが、基準価額の下落要因となりました。
- ・実質外貨建資産について対円での為替ヘッジを行ったため、各通貨と円の金利差によるヘッジコストが基準価額の下落要因となりました。

## 1万口当たりの費用明細

(2023年6月24日～2023年12月25日)

項 目	第115期～第120期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
	円	%	
(a) 信 託 報 酬 ( 投 信 会 社 )  ( 販 売 会 社 )  ( 受 託 会 社 )	116 ( 56 )  ( 54 )  ( 7 )	0.962 (0.461)  (0.445)  (0.056)	(a) 信託報酬＝作成期間の平均基準価額×信託報酬率 ファンドの運用とそれに伴う調査、受託会社への指図、法定書面等の作成、基準価額の算出等の対価 購入後の情報提供、運用報告書等各種資料の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等の対価 ファンドの財産の保管・管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) 売 買 委 託 手 数 料 ( 株 式 ) ( 投 資 信 託 証 券 )	2 ( 2 ) ( 0 )	0.019 (0.019) (0.000)	(b) 売買委託手数料＝作成期間の売買委託手数料÷作成期間の平均受益権口数 ※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) 有 価 証 券 取 引 税 ( 株 式 ) ( 投 資 信 託 証 券 )	6 ( 6 ) ( 0 )	0.050 (0.049) (0.001)	(c) 有価証券取引税＝作成期間の有価証券取引税÷作成期間の平均受益権口数 ※有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(d) そ の 他 費 用  ( 保 管 費 用 )  ( 監 査 費 用 )  ( 印 刷 費 用 )  ( そ の 他 )	5  ( 0 )  ( 1 )  ( 4 )  ( 0 )	0.043  (0.003)  (0.007)  (0.033)  (0.000)	(d) その他費用＝作成期間のその他費用÷作成期間の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用 監査費用は、監査法人に支払うファンドの監査に係る費用 印刷費用は、目論見書や運用報告書等の法定書類の作成・印刷に要する費用等 その他は、信託事務の処理に要する費用
合 計	129	1.074	
作成期間の平均基準価額は、12,101円です。			

(注) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

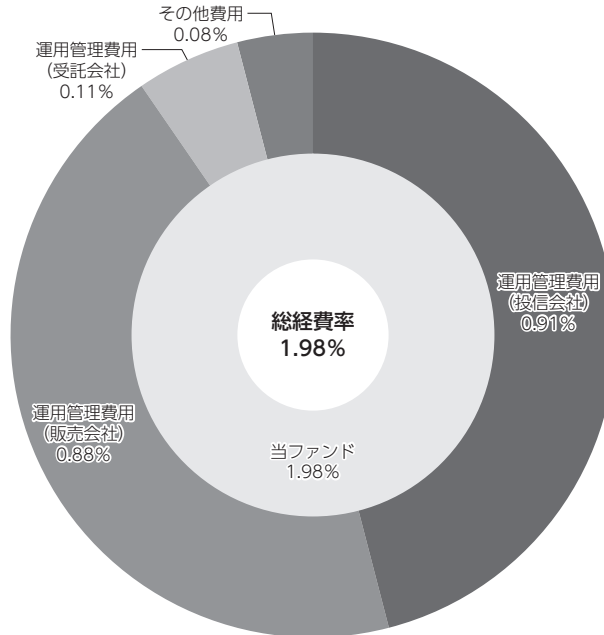
(注) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数点以下第4位を四捨五入してあります。

(参考情報)

○総経費率

作成期間の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を作成期間の平均受益権口数に作成期間の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.98%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、親投資信託が支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

## 最近5年間の基準価額等の推移

(2018年12月25日～2023年12月25日)



- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額およびMSCIワールド・インデックス(税引後配当込み、円ヘッジベース)は、2018年12月25日の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

	2018年12月25日 決算日	2019年12月23日 決算日	2020年12月23日 決算日	2021年12月23日 決算日	2022年12月23日 決算日	2023年12月25日 決算日
基準価額 (円)	10,950	13,025	11,510	13,266	11,354	12,836
期間分配金合計(税込み) (円)	—	560	560	800	600	680
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	24.5	△ 6.9	22.7	△ 9.8	19.6
MSCIワールド・インデックス (税引後配当込み、円ヘッジベース)騰落率 (%)	—	28.3	9.5	22.5	△ 18.7	15.0
純資産総額 (百万円)	1,577	2,061	2,233	3,082	3,668	6,616

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

(注) 騰落率は1年前の決算当日との比較です。

(注) MSCIワールド・インデックス(税引後配当込み、円ヘッジベース)は、ベンチマークです。

## 投資環境

(2023年6月24日~2023年12月25日)

TOPIX (東証株価指数) (日本)	+3.2%	S & P 500 指数 (米国)	+9.3%
FTSE 100 指数 (英国)	+3.2%	DAX 指数 (ドイツ)	+5.5%
CAC 40 指数 (フランス)	+5.7%		
米ドル/円	142円22銭 (前作成期末143円17銭)	ユーロ/円	156円34銭 (同156円87銭)

※株価指数の騰落率は当作成期末時点 (対前作成期末比)、米ドル/円およびユーロ/円は当作成期末の数値です。

## &lt;株式市場&gt;

当作成期の世界各国 (エマージング国を除く) の株式市場は、上昇する展開となりました。作成期初は、米国景気がソフトランディングに向かうとの見方が強まったこと、米国のインフレが鈍化傾向となったこと、欧州中央銀行 (ECB) が利上げを長期間継続するとの見方が後退したことなどを受け、株式市場は上昇しました。しかしながら、その後もインフレの鈍化スピードが緩慢なこと、米連邦準備理事会 (FRB) や ECB の積極的な利上げが継続したこと、世界的に長期金利が大きく上昇したことなどを背景に、世界の株式市場は軟調な展開となりました。作成期央以降には、イスラエル・ハマス紛争が勃発し、一時的に地政学リスクが高まったものの、作成期末には、FRB が2024年に利下げを開始することを示唆したこと、ECB が同様に利下げに転じるとの見方が台頭したこと、欧米の長期金利が低下したことなどが好感され、主要な株式市場は上昇し、高値圏で作成期末を迎えました。

## &lt;為替市場&gt;

当作成期の米ドル/円レートは、下落しました。FRB が2022年3月以降、政策金利の利上げを連続で行ったこと、日銀が大規模な金融緩和政策を継続し、日米金利差が拡大したことなどを背景に、作成期初から作成期末近くにかけては円安/米ドル高で推移しました。しかしながら、作成期末には、FRB が2024年に利下げを開始することを示唆したことで、作成期を通してみると小幅な円高/米ドル安となりました。

当作成期のユーロ/円レートは、下落しました。ユーロはECB が2022年7月以降、利上げを連続で行ったこと、ユーロ圏各国の債券利回りが上昇し、日欧金利差が拡大したことなどを背景に、円安/ユーロ高で推移しました。作成期末には、ECB が利下げに転じるとの観測が広がり、作成期を通してみると小幅な円高/ユーロ安となりました。

## 当ファンドのポートフォリオ

(2023年6月24日~2023年12月25日)

主として、インベスコ 世界先進国株式 マザーファンド (以下、マザーファンドといいます。) に投資を行い、マザーファンドを通じて、日本を含む世界各国 (エマージング国を除く) の株式の中から、独自のバリュー・アプローチによりグローバル比較で見た割安銘柄を厳選し投資を行いました。また、実質外貨建資産の投資に当たっては、為替ヘッジをすることで為替変動リスクの低減を図りました。

マザーファンドでは、独自の財務分析、経営力、ビジネス評価などのファンダメンタルズ分析と株価

の適正水準評価などに基づくボトムアップ・アプローチによって銘柄を厳選し、ポートフォリオを構築しました。株式組入比率は、作成期を通じて高位を維持しました。セクター別では、主に「資本財・サービス」「金融」をオーバーウェイトとしました。一方、「情報技術」「ヘルスケア」をアンダーウェイトとし、「公益事業」は非保有としました。当作成期間中、強固な財務基盤や高い競争優位性を持つ企業の株式を中心に、新規に組み入れを行いました。米国の農業用品小売店チェーンであるTRACTOR SUPPLY (米国／一般消費財・サービス流通・小売り)、特殊化学品や食品原料の卸売・販売を行うベルギーのAZELIS GROUP (ベルギー／資本財)、世界最大手のラグジュアリーブランドグループであるLVMH (フランス／耐久消費財・アパレル)などを新規で購入しました。一方、より魅力的な投資機会への投資を行うためMAINFREIGHT (ニュージーランド／運輸)、KONE (フィンランド／資本財)などを全売却しました。

## 当ファンドのベンチマークとの差異

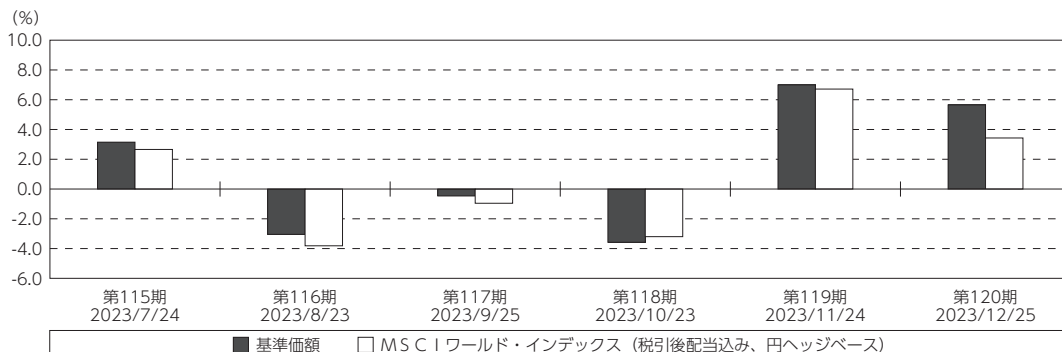
(2023年6月24日～2023年12月25日)

当作成期の分配金再投資基準価額騰落率は+8.5%となり、ベンチマークであるMSCIワールド・インデックス (税引後配当込み、円ヘッジベース) の騰落率+4.5%を上回る結果となりました。

当作成期は、セクター別では、セクター別配分効果及び銘柄選択効果が双方プラスに寄与しました。セクター別配分効果については、「金融」の組入比率をベンチマークより高めとし、「ヘルスケア」の組入比率をベンチマークより低めとしたことがプラス要因となった一方、「生活必需品」の組入比率をベンチマークより高めとしたことや、「情報技術」の組入比率をベンチマークより低めとしたことがマイナス要因となりました。銘柄選択効果については、「資本財・サービス」や「情報技術」の銘柄選択がプラス要因となった一方、「生活必需品」や「一般消費財・サービス」の銘柄選択がマイナス要因となりました。

国別では、国別配分効果がマイナスに影響したものの、銘柄選択効果はプラスに寄与しました。国別配分効果については、「日本」の組入比率をベンチマークより低めとしたこと、「イタリア」の組入比率をベンチマークより高めとしたことなどがプラス要因となった一方、「香港」や「英国」の組入比率をベンチマークより高めとしたことなどがマイナス要因となりました。銘柄選択効果については、「米国」や「英国」の銘柄選択がプラス要因となった一方、「デンマーク」や「イタリア」の銘柄選択がマイナス要因となりました。

基準価額とベンチマークの対比 (期別騰落率)



(注) 基準価額の騰落率は分配金 (税込み) 込みです。

(注) MSCIワールド・インデックス (税引後配当込み、円ヘッジベース) は、ベンチマークです。



## 分配金

(2023年6月24日～2023年12月25日)

収益分配金につきましては、基準価額水準および市況環境などを勘案し、第115期から第120期まで合計で1万口当たり280円（税込み）とさせていただきます。収益分配金に充てなかった収益につきましては、信託財産に留保して元本部分と同一の運用を行います。

## ○分配原資の内訳

(単位:円、1万口当たり、税込み)

項 目	第115期	第116期	第117期	第118期	第119期	第120期
	2023年6月24日 ～2023年7月24日	2023年7月25日 ～2023年8月23日	2023年8月24日 ～2023年9月25日	2023年9月26日 ～2023年10月23日	2023年10月24日 ～2023年11月24日	2023年11月25日 ～2023年12月25日
当期分配金	40	40	40	40	40	80
(対基準価額比率)	0.320%	0.332%	0.334%	0.348%	0.326%	0.619%
当期の収益	－	3	－	－	19	80
当期の収益以外	40	36	40	40	20	－
翌期繰越分配対象額	7,830	7,795	7,756	7,717	7,697	8,259

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当ファンドは当期分配金について、「当期の収益以外」から支払っておりましたが、第116期より「当期の収益」からも支払うように変更いたしました。分配方針に変更はありません。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

## 今後の運用方針

主としてマザーファンドへの投資を通じて日本を含む世界各国（エマージング国を除く）の株式の中から、独自のバリュー・アプローチにより、グローバル比較で見た割安銘柄を厳選し投資を行います。実質外貨建資産への投資に当たっては、原則として為替ヘッジをすることで為替変動リスクの低減を図ります。

マザーファンドでは、独自の財務分析、経営力、ビジネス評価などのファンダメンタルズ分析と株価の適正水準評価などに基づくボトムアップ・アプローチによって銘柄を厳選し、ポートフォリオを構築します。エマージング諸国を除く、世界に点在する企業の中から、国籍にかかわらず、ビジネス・モデルと経営陣の資質が優れていると判断した企業を発掘します。特に着目している企業の特徴は、フリー・キャッシュフロー創出力と株主還元を踏まえた配当成長力です。また、銘柄数を厳選し、長期的視点から投資を行う方針です。今後も、株価バリュエーション判断を重視し、相対的に割安度が高いと判断した銘柄への組み替えを行っていきます。



## お知らせ

当ファンドのベンチマークについて、2023年9月21日を変更適用日とし、以下の変更を行いましたのでお知らせします。

・変更内容

(変更前) M S C Iワールド・インデックス (円ヘッジ指数)

(変更後) M S C Iワールド・インデックス (税引後配当込み、円ヘッジベース)

ベンチマークのデータは遡及して変更せず、変更適用日より新たな指数を使用することとします。

・変更理由

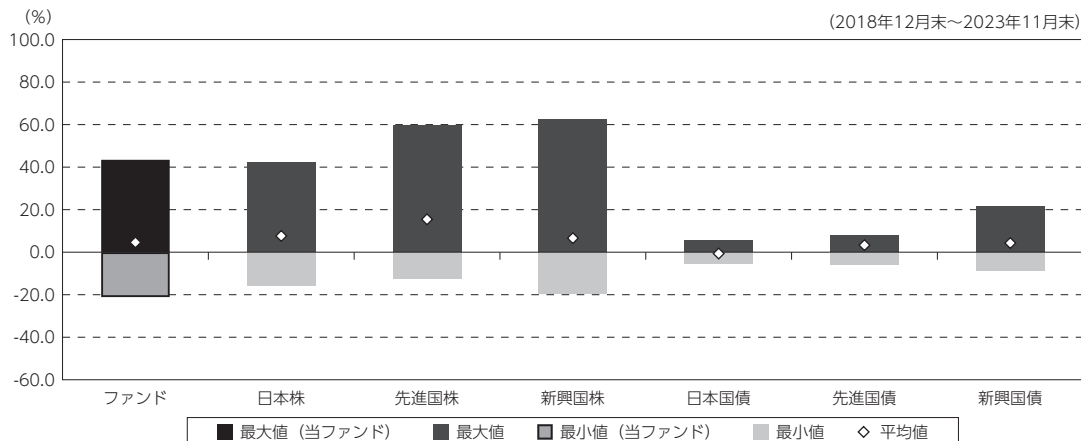
当ファンドの設定当時においては、ベンチマークを「配当なし」とすることが一般的であったことや「配当込み指数」のデータを取得することが困難であったことから対象ファンドのベンチマークは「配当なし」となっておりました。今般、「配当込み指数」をベンチマークとすることが一般的になったこと、またそのデータの取得が容易になったことなどを鑑み、より投資家の方に分かりやすい開示を行うことが主な変更理由です。

## 当ファンドの概要

商品分類	追加型投信/内外/株式	
信託期間	無期限	
運用方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>「インベスコ 世界先進国株式 マザーファンド」受益証券を主要投資対象とし、投資信託財産の長期的な成長を目標に積極的な運用を行うことを基本とします。</li> <li>M S C Iワールド・インデックス (税引後配当込み、円ヘッジベース) をベンチマークとします。</li> </ul>	
主要投資対象	インベスコ 世界厳選株式 オープン<為替ヘッジあり> (毎月決算型)	インベスコ 世界先進国株式 マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。
	インベスコ 世界先進国株式 マザーファンド	日本を含む世界各国 (エマージング国を除く) の株式を主要投資対象とします。
運用方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>主としてマザーファンド受益証券への投資を通じて、日本を含む世界各国 (エマージング国を除く) の株式の中から、独自のバリュエーション・アプローチによりグローバル比較で見た割安銘柄を厳選し投資します。</li> <li>銘柄選択にあたっては、独自の財務分析、経営力、ビジネス評価等ファンダメンタルズ分析と株価の適正水準評価等に基づくボトムアップ・アプローチにより行います。</li> <li>実質外貨建資産について、原則として、対円での為替ヘッジを行うことにより、為替変動リスクの低減を図ることを基本とします。</li> </ul>	
分配方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>原則として毎月の決算時 (毎月23日、該当日が休業日の場合は翌営業日) に委託会社が、基準価額の水準、市況環境等を勘案し、分配金額を決定します。</li> <li>毎年3月、6月、9月、12月の決算時には、委託会社が決定する額を付加して分配する場合があります。</li> <li>分配対象額が少額の場合は、分配を行わない場合もあります。</li> </ul>	

(参考情報)

○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位: %)

	ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
平均値	4.6	7.6	15.4	6.6	-0.6	3.3	4.3
最大値	43.5	42.1	59.8	62.7	5.4	8.0	21.5
最小値	-21.1	-16.0	-12.4	-19.4	-5.5	-6.1	-8.8

(注) すべての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注) 2018年12月から2023年11月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の平均値・最大値・最小値を表示したものです。

(注) 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注) 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

《各資産クラスの指数》

日本株：TOPIX (東証株価指数) (配当込み)

先進国株：MSCI コクサイ・インデックス (配当込み、円ベース)

新興国株：MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

日本国債：NOMURA - BPI 国債

先進国債：FTSE 世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

新興国債：JP モルガン GBI - EM グローバル・ダイバーシファイド (円ベース)

※各指数についての説明は、P22の「代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について」をご参照ください。

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

## 当ファンドのデータ

### 組入資産の内容

(2023年12月25日現在)

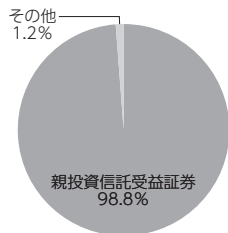
#### ○組入上位ファンド

銘柄名	第120期末
インベスコ 世界先進国株式 マザーファンド	98.8%
組入銘柄数	1銘柄

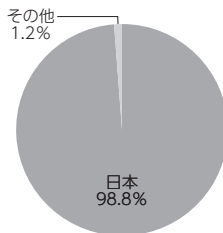
(注) 比率は純資産総額に対する割合です。

(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。

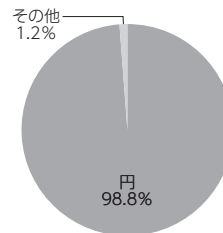
#### ○資産別配分



#### ○国別配分



#### ○通貨別配分



(注) 比率は純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては、発行体の国籍(所在国)などを表示しております。

(注) その他には現金等を含む場合があります。

### 純資産等

項目	第115期末	第116期末	第117期末	第118期末	第119期末	第120期末
	2023年7月24日	2023年8月23日	2023年9月25日	2023年10月23日	2023年11月24日	2023年12月25日
純資産総額	5,963,590,513円	5,917,613,848円	5,905,662,596円	5,768,937,702円	6,266,645,749円	6,616,974,753円
受益権総口数	4,791,765,818口	4,920,643,722口	4,950,306,628口	5,032,478,153口	5,125,980,532口	5,154,940,432口
1万口当たり基準価額	12,445円	12,026円	11,930円	11,463円	12,225円	12,836円

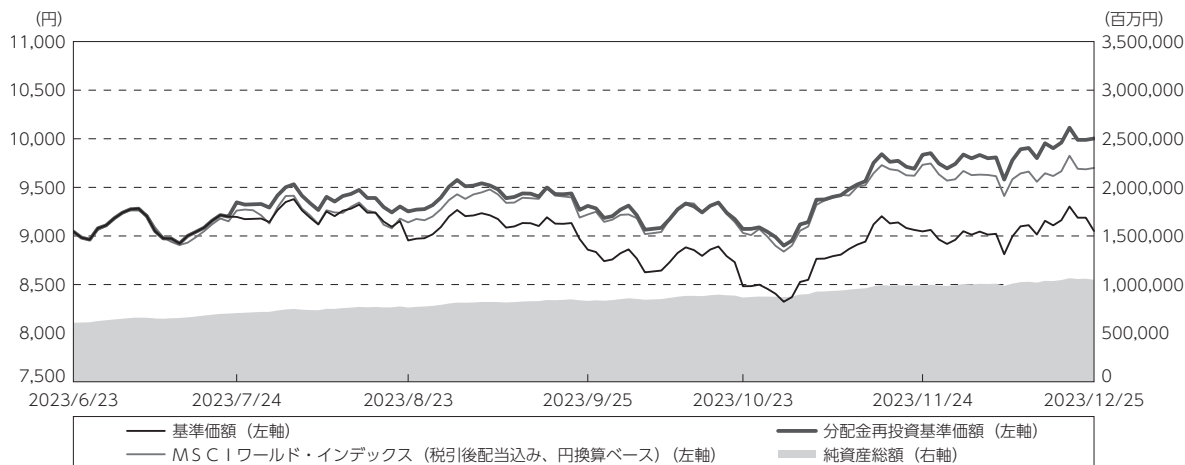
\*作成期間(第115期~第120期)中における追加設定元本額は1,023,310,517円、同解約元本額は468,182,653円です。

## インベスコ 世界厳選株式オープン&lt;為替ヘッジなし&gt; (毎月決算型)

## 運用経過

## 作成期間中の基準価額等の推移

(2023年6月24日~2023年12月25日)



- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 当ファンドのベンチマークは、設定日から2023年9月20日までは「MSCIワールド・インデックス(円換算指数)」、2023年9月21日以降は「MSCIワールド・インデックス(税引後配当込み、円換算ベース)」に変更しています。ベンチマークは指数化し、結合したものを掲載しています。以下、同じです。
- (注) 分配金再投資基準価額およびMSCIワールド・インデックス(税引後配当込み、円換算ベース)は、作成期首(2023年6月23日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- (注) MSCIワールド・インデックス(税引後配当込み、円換算ベース)は、ベンチマークです。ベンチマークは、今後、他の指数へ変更されることがあります。ベンチマークの詳細は22ページをご参照ください。以下、同じです。

## ○基準価額の主な変動要因

## 【上昇要因】

- ・日本を含む世界各国(エマージング国を除く)の株式を実質的な主要投資対象としているため、ポートフォリオにおいて投資対象市場が上昇したことが、基準価額の上昇要因となりました。
- ・独自の財務分析、経営力、ビジネス評価などのファンダメンタルズ分析と株価の適正水準評価などに基づくボトムアップ・アプローチにより銘柄選択を行った結果、3I GROUP(英国/金融サービス)、BROADCOM INC.(米国/半導体・半導体製造装置)、KKR(米国/金融サービス)などの株価の上昇が、基準価額の上昇要因となりました。

- ・実質外貨建資産について対円で為替ヘッジを行わなかったため、米ドルやユーロ、英国ポンドなどが対円で上昇したことが、基準価額の上昇要因となりました。

### [下落要因]

- ・日本を含む世界各国（エマージング国を除く）の株式を実質的な主要投資対象としているため、ポートフォリオにおいてデンマークやフィンランドなどの投資対象企業の株価が下落したことが、基準価額の下落要因となりました。
- ・ROYAL UNIBREW A/S（デンマーク／食品・飲料・タバコ）、AIA GROUP（香港／保険）、RECKITT BENCKISER GROUP（英国／家庭用品・パーソナル用品）などの株価が保有期間に下落したことが、基準価額の下落要因となりました。

## 1万口当たりの費用明細

(2023年6月24日～2023年12月25日)

項目	第115期～第120期		項目の概要
	金額	比率	
	円	%	
(a) 信託報酬 ( 投 信 会 社 )  ( 販 売 会 社 )  ( 受 託 会 社 )	86 (41)  (40)  ( 5)	0.962 (0.461)  (0.445)  (0.056)	(a) 信託報酬＝作成期間の平均基準価額×信託報酬率 ファンドの運用とそれに伴う調査、受託会社への指図、法定書面等の作成、基準価額の算出等の対価 購入後の情報提供、運用報告書等各种資料の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等の対価 ファンドの財産の保管・管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料 ( 株 式 ) ( 投 資 信 託 証 券 )	2 ( 2 ) ( 0 )	0.020 (0.019) (0.001)	(b) 売買委託手数料＝作成期間の売買委託手数料÷作成期間の平均受益権口数 ※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) 有価証券取引税 ( 株 式 ) ( 投 資 信 託 証 券 )	5 ( 4 ) ( 0 )	0.051 (0.050) (0.001)	(c) 有価証券取引税＝作成期間の有価証券取引税÷作成期間の平均受益権口数 ※有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(d) その他費用 ( 保 管 費 用 ) ( 監 査 費 用 ) ( 印 刷 費 用 ) ( そ の 他 )	0 ( 0 ) ( 0 ) ( 0 ) ( 0 )	0.004 (0.003) (0.000) (0.000) (0.000)	(d) その他費用＝作成期間のその他費用÷作成期間の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用 監査費用は、監査法人に支払うファンドの監査に係る費用 印刷費用は、目論見書や運用報告書等の法定書類の作成・印刷に要する費用等 その他は、信託事務の処理に要する費用
合計	93	1.037	
作成期間の平均基準価額は、8,977円です。			

(注) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

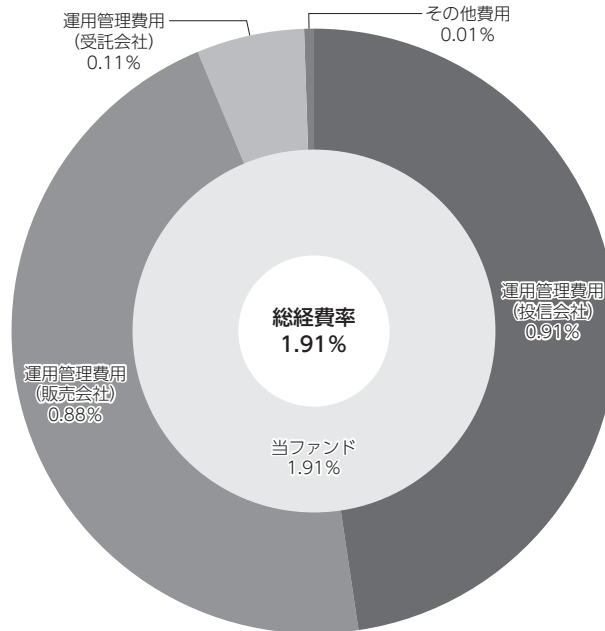
(注) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数点以下第4位を四捨五入してあります。

(参考情報)

○総経費率

作成期間の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を作成期間の平均受益権口数に作成期間の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.91%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

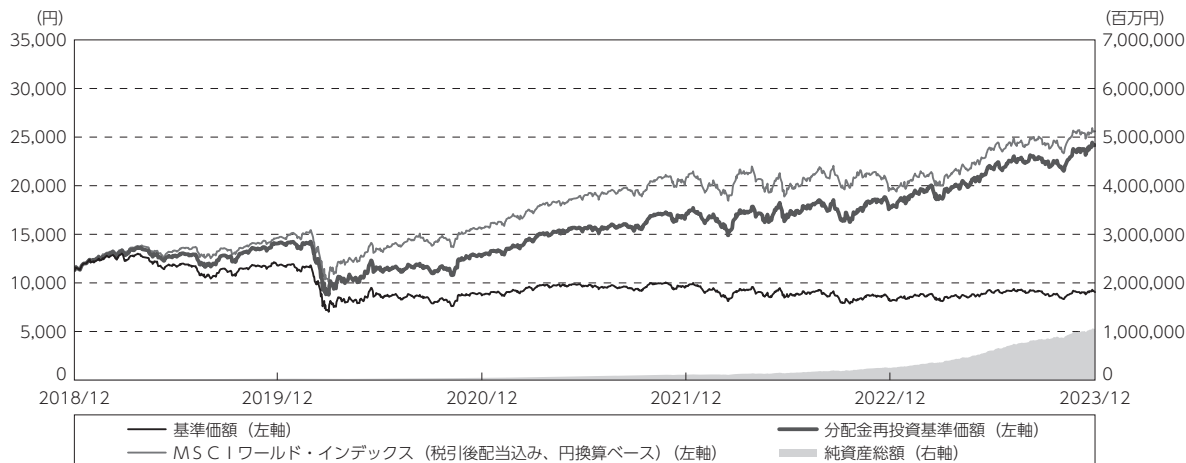
(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、親投資信託が支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

## 最近5年間の基準価額等の推移

(2018年12月25日～2023年12月25日)



(注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注) 分配金再投資基準価額およびMSCIワールド・インデックス(税引後配当込み、円換算ベース)は、2018年12月25日の値が基準価額と同ーとなるように指数化しております。

	2018年12月25日 決算日	2019年12月23日 決算日	2020年12月23日 決算日	2021年12月23日 決算日	2022年12月23日 決算日	2023年12月25日 決算日
基準価額 (円)	11,292	11,784	8,704	9,594	8,142	9,051
期間分配金合計(税込み) (円)	-	2,100	1,800	1,800	1,800	1,800
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	-	24.5	△ 9.1	33.1	4.3	36.3
MSCIワールド・インデックス (税引後配当込み、円換算ベース)騰落率 (%)	-	29.6	6.5	32.7	△ 5.3	30.6
純資産総額 (百万円)	13,025	26,718	45,301	110,909	250,723	1,049,053

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

(注) 騰落率は1年前の決算当日との比較です。

(注) MSCIワールド・インデックス(税引後配当込み、円換算ベース)は、ベンチマークです。



## 投資環境

(2023年6月24日~2023年12月25日)

TOPIX (東証株価指数) (日本)	+3.2%	S & P 500 指数 (米国)	+9.3%
FTSE 100 指数 (英国)	+3.2%	DAX 指数 (ドイツ)	+5.5%
CAC 40 指数 (フランス)	+5.7%		
米ドル/円	142円22銭 (前作成期末143円17銭)	ユーロ/円	156円34銭 (同156円87銭)

※株価指数の騰落率は当作成期末時点 (対前作成期末比)、米ドル/円およびユーロ/円は当作成期末の数値です。

## &lt;株式市場&gt;

当作成期の世界各国 (エマージング国を除く) の株式市場は、上昇する展開となりました。作成期初は、米国景気がソフトランディングに向かうとの見方が強まったこと、米国のインフレが鈍化傾向となったこと、欧州中央銀行 (ECB) が利上げを長期間継続するとの見方が後退したことなどを受け、株式市場は上昇しました。しかしながら、その後もインフレの鈍化スピードが緩慢なこと、米連邦準備理事会 (FRB) や ECB の積極的な利上げが継続したこと、世界的に長期金利が大きく上昇したことなどを背景に、世界の株式市場は軟調な展開となりました。作成期央以降には、イスラエル・ハマス紛争が勃発し、一時的に地政学リスクが高まったものの、作成期末には、FRB が2024年に利下げを開始することを示唆したこと、ECB が同様に利下げに転じるとの見方が台頭したこと、欧米の長期金利が低下したことなどが好感され、主要な株式市場は上昇し、高値圏で作成期末を迎えました。

## &lt;為替市場&gt;

当作成期の米ドル/円レートは、下落しました。FRB が2022年3月以降、政策金利の利上げを連続で行ったこと、日銀が大規模な金融緩和政策を継続し、日米金利差が拡大したことなどを背景に、作成期初から作成期末近くにかけては円安/米ドル高で推移しました。しかしながら、作成期末には、FRB が2024年に利下げを開始することを示唆したことで、作成期を通してみると小幅な円高/米ドル安となりました。

当作成期のユーロ/円レートは、下落しました。ユーロはECB が2022年7月以降、利上げを連続で行ったこと、ユーロ圏各国の債券利回りが上昇し、日欧金利差が拡大したことなどを背景に、円安/ユーロ高で推移しました。作成期末には、ECB が利下げに転じるとの観測が広がり、作成期を通してみると小幅な円高/ユーロ安となりました。

## 当ファンドのポートフォリオ

(2023年6月24日~2023年12月25日)

主として、インベスコ 世界先進国株式 マザーファンド (以下、マザーファンドといいます。) に投資を行い、マザーファンドを通じて、日本を含む世界各国 (エマージング国を除く) の株式の中から、独自のバリュー・アプローチによりグローバル比較で見た割安銘柄を厳選し投資を行いました。また、実質外貨建資産の投資に当たっては、為替ヘッジを行いませんでした。

マザーファンドでは、独自の財務分析、経営力、ビジネス評価などのファンダメンタルズ分析と株価

の適正水準評価などに基づくボトムアップ・アプローチによって銘柄を厳選し、ポートフォリオを構築しました。株式組入比率は、作成期を通じて高位を維持しました。セクター別では、主に「資本財・サービス」「金融」をオーバーウェイトとしました。一方、「情報技術」「ヘルスケア」をアンダーウェイトとし、「公益事業」は非保有としました。当作成期間中、強固な財務基盤や高い競争優位性を持つ企業の株式を中心に、新規に組み入れを行いました。米国の農業用品小売店チェーンであるTRACTOR SUPPLY (米国／一般消費財・サービス流通・小売り)、特殊化学品や食品原料の卸売・販売を行うベルギーのAZELIS GROUP (ベルギー／資本財)、世界最大手のラグジュアリーブランドグループであるLVMH (フランス／耐久消費財・アパレル)などを新規で購入しました。一方、より魅力的な投資機会への投資を行うためMAINFREIGHT (ニュージーランド／運輸)、KONE (フィンランド／資本財)などを全売却しました。

## 当ファンドのベンチマークとの差異

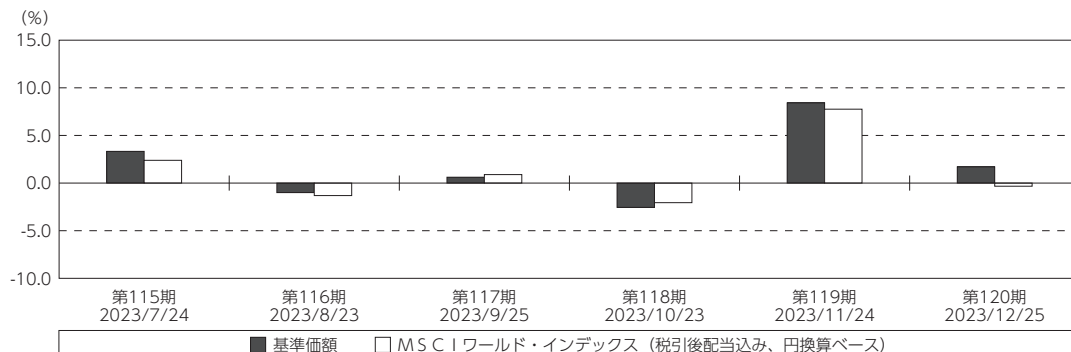
(2023年6月24日～2023年12月25日)

当作成期の分配金再投資基準価額騰落率は+10.6%となり、ベンチマークであるMSCIワールド・インデックス (税引後配当込み、円換算ベース) の騰落率+7.2%を上回る結果となりました。

当作成期は、セクター別では、セクター別配分効果及び銘柄選択効果が双方プラスに寄与しました。セクター別配分効果については、「金融」の組入比率をベンチマークより高めとし、「ヘルスケア」の組入比率をベンチマークより低めとしたことがプラス要因となった一方、「生活必需品」の組入比率をベンチマークより高めとしたことや、「情報技術」の組入比率をベンチマークより低めとしたことがマイナス要因となりました。銘柄選択効果については、「資本財・サービス」や「情報技術」の銘柄選択がプラス要因となった一方、「生活必需品」や「一般消費財・サービス」の銘柄選択がマイナス要因となりました。

国別では、国別配分効果がマイナスに影響したものの、銘柄選択効果はプラスに寄与しました。国別配分効果については、「日本」の組入比率をベンチマークより低めとしたこと、「イタリア」の組入比率をベンチマークより高めとしたことなどがプラス要因となった一方、「香港」や「英国」の組入比率をベンチマークより高めとしたことなどがマイナス要因となりました。銘柄選択効果については、「米国」や「英国」の銘柄選択がプラス要因となった一方、「デンマーク」や「イタリア」の銘柄選択がマイナス要因となりました。

基準価額とベンチマークの対比 (期別騰落率)



(注) 基準価額の騰落率は分配金 (税込み) 込みです。

(注) MSCIワールド・インデックス (税引後配当込み、円換算ベース) は、ベンチマークです。

## 分配金

(2023年6月24日～2023年12月25日)

収益分配金につきましては、基準価額水準および市況環境などを勘案し、第115期から第120期まで合計で1万口当たり900円（税込み）とさせていただきます。収益分配金に充てなかった収益につきましては、信託財産に留保して元本部分と同一の運用を行います。

## ○分配原資の内訳

(単位:円、1万口当たり、税込み)

項 目	第115期	第116期	第117期	第118期	第119期	第120期
	2023年6月24日 ～2023年7月24日	2023年7月25日 ～2023年8月23日	2023年8月24日 ～2023年9月25日	2023年9月26日 ～2023年10月23日	2023年10月24日 ～2023年11月24日	2023年11月25日 ～2023年12月25日
当期分配金	150	150	150	150	150	150
(対基準価額比率)	1.605%	1.648%	1.665%	1.738%	1.631%	1.630%
当期の収益	－	3	8	－	150	150
当期の収益以外	150	146	141	150	－	－
翌期繰越分配対象額	8,651	8,506	8,365	8,216	8,510	8,514

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当ファンドは当期分配金について、「当期の収益以外」から支払っておりましたが、第116期より「当期の収益」からも支払うように変更いたしました。分配方針に変更はありません。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

## 今後の運用方針

主としてマザーファンドへの投資を通じて日本を含む世界各国（エマージング国を除く）の株式の中から、独自のバリュー・アプローチにより、グローバル比較で見た割安銘柄を厳選し投資を行います。実質外貨建資産への投資に当たっては、原則として為替ヘッジを行わない方針です。

マザーファンドでは、独自の財務分析、経営力、ビジネス評価などのファンダメンタルズ分析と株価の適正水準評価などに基づくボトムアップ・アプローチによって銘柄を厳選し、ポートフォリオを構築します。エマージング諸国を除く、世界に点在する企業の中から、国籍にかかわらず、ビジネス・モデルと経営陣の資質が優れていると判断した企業を発掘します。特に着目している企業の特徴は、フリー・キャッシュフロー創出力と株主還元を踏まえた、配当成長力です。また、銘柄数を厳選し、長期的視点から投資を行う方針です。今後も、株価バリュエーション判断を重視し、相対的に割安度が高いと判断した銘柄への組み替えを行っていきます。

## お知らせ

当ファンドのベンチマークについて、2023年9月21日を変更適用日とし、以下の変更を行いましたのでお知らせします。

## ・変更内容

(変更前) M S C Iワールド・インデックス (円換算指数)

(変更後) M S C Iワールド・インデックス (税引後配当込み、円換算ベース)

ベンチマークのデータは遡及して変更せず、変更適用日より新たな指数を使用することとします。

## ・変更理由

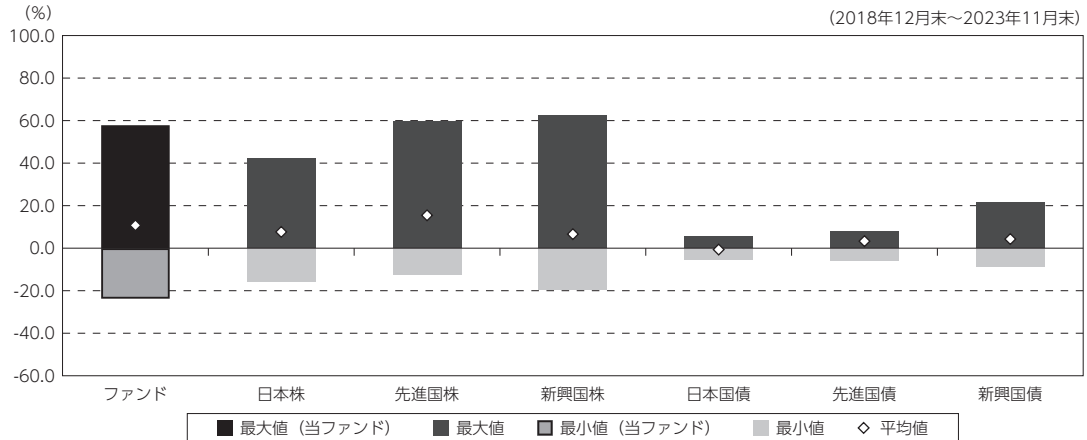
当ファンドの設定当時においては、ベンチマークを「配当なし」とすることが一般的であったことや「配当込み指数」のデータを取得することが困難であったことから対象ファンドのベンチマークは「配当なし」となっておりました。今般、「配当込み指数」をベンチマークとすることが一般的になったこと、またそのデータの取得が容易になったことなどを鑑み、より投資家の方に分かりやすい開示を行うことが主な変更理由です。

## 当ファンドの概要

商品分類	追加型投信/内外/株式	
信託期間	無期限	
運用方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「インベスコ 世界先進国株式 マザーファンド」受益証券を主要投資対象とし、投資信託財産の長期的な成長を目標に積極的な運用を行うことを基本とします。</li> <li>・M S C Iワールド・インデックス (税引後配当込み、円換算ベース) をベンチマークとします。</li> </ul>	
主要投資対象	インベスコ 世界厳選株式 オープン<為替ヘッジなし> (毎月決算型)	インベスコ 世界先進国株式 マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。
	インベスコ 世界先進国株式 マザーファンド	日本を含む世界各国 (エマージング国を除く) の株式を主要投資対象とします。
運用方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主としてマザーファンド受益証券への投資を通じて、日本を含む世界各国 (エマージング国を除く) の株式の中から、独自のバリュー・アプローチによりグローバル比較で見た割安銘柄を厳選し投資します。</li> <li>・銘柄選択にあたっては、独自の財務分析、経営力、ビジネス評価等ファンダメンタルズ分析と株価の適正水準評価等に基づきボトムアップ・アプローチにより行います。</li> <li>・実質外貨建資産について、原則として、対円での為替ヘッジを行いません。</li> </ul>	
分配方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>・原則として毎月の決算時 (毎月23日、該当日が休業日の場合は翌営業日) に委託会社が、基準価額の水準、市況環境等を勘案し、分配金額を決定します。</li> <li>・毎年3月、6月、9月、12月の決算時には、委託会社が決定する額を付加して分配する場合があります。</li> <li>・分配対象額が少額の場合は、分配を行わない場合もあります。</li> </ul>	

## (参考情報)

## ○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位: %)

	ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
平均値	10.7	7.6	15.4	6.6	-0.6	3.3	4.3
最大値	57.8	42.1	59.8	62.7	5.4	8.0	21.5
最小値	-23.8	-16.0	-12.4	-19.4	-5.5	-6.1	-8.8

(注) すべての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注) 2018年12月から2023年11月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の平均値・最大値・最小値を表示したものです。

(注) 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注) 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

## 《各資産クラスの指数》

日本株：TOPIX (東証株価指数) (配当込み)

先進国株：MSCI コクサイ・インデックス (配当込み、円ベース)

新興国株：MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

日本国債：NOMURA - BPI 国債

先進国債：FTSE 世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

新興国債：JP モルガン GBI - EM グローバル・ダイバーシファイド (円ベース)

※各指数についての説明は、P22の「代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について」をご参照ください。

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

## 当ファンドのデータ

### 組入資産の内容

(2023年12月25日現在)

#### ○組入上位ファンド

銘柄名	第120期末
インベスコ 世界先進国株式 マザーファンド	101.9%
組入銘柄数	1銘柄

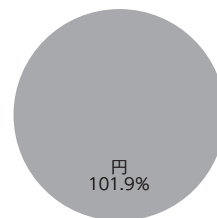
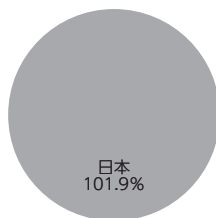
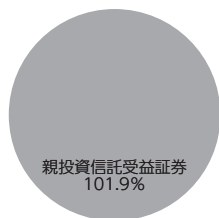
(注) 比率は純資産総額に対する割合です。

(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。

#### ○資産別配分

#### ○国別配分

#### ○通貨別配分



(注) 比率は純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては、発行体の国籍(所在国)などを表示しております。

### 純資産等

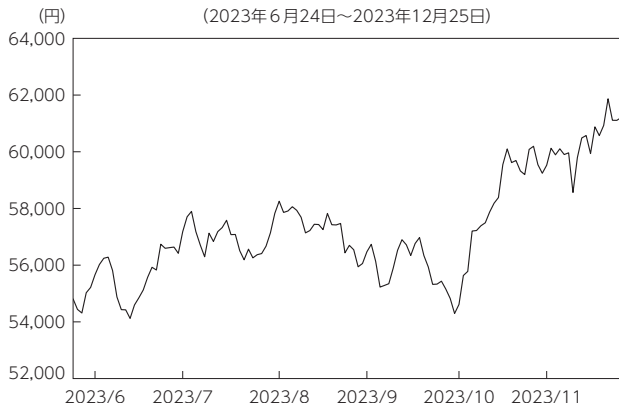
項目	第115期末	第116期末	第117期末	第118期末	第119期末	第120期末
	2023年7月24日	2023年8月23日	2023年9月25日	2023年10月23日	2023年11月24日	2023年12月25日
純資産総額	706,638,894,061円	763,480,319,228円	832,124,396,282円	866,601,569,025円	991,137,465,748円	1,049,053,026,122円
受益権総口数	768,386,014,669口	852,626,226,369口	939,277,590,993口	1,021,575,539,722口	1,095,564,068,211口	1,159,012,863,214口
1万円当たり基準価額	9,196円	8,954円	8,859円	8,483円	9,047円	9,051円

\* 作成期間(第115期~第120期)中における追加設定元本額は539,791,475,510円、同解約元本額は52,478,326,450円です。

## 組入上位ファンドの概要

### インベスコ 世界先進国株式 マザーファンド

#### 【基準価額の推移】



#### 【1万口当たりの費用明細】

(2023年6月24日~2023年12月25日)

項目	当期	
	金額	比率
	円	%
(a) 売買委託手数料 (株 株式)	11 (11)	0.020 (0.019)
(投資信託証券)	(0)	(0.001)
(b) 有価証券取引税 (株 株式)	29 (28)	0.051 (0.050)
(投資信託証券)	(1)	(0.001)
(c) その他費用 (保管費用)	2 (2)	0.003 (0.003)
(その他)	(0)	(0.000)
合計	42	0.074

期中の平均基準価額は、56,952円です。

(注) 上記項目の概要につきましては運用報告書(全体版)をご参照ください。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数点以下第4位を四捨五入してあります。

#### 【組入上位10銘柄】

(2023年12月25日現在)

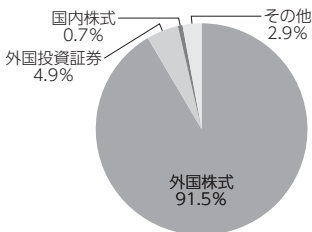
順位	銘柄名	業種/種別等	通貨	国(地域)	比率
					%
1	3I GROUP	金融サービス	英ポンド	イギリス	5.5
2	MICROSOFT	ソフトウェア・サービス	米ドル	アメリカ	4.6
3	UNION PACIFIC	運輸	米ドル	アメリカ	4.3
4	BROADCOM	半導体・半導体製造装置	米ドル	アメリカ	4.3
5	TEXAS INSTRUMENTS	半導体・半導体製造装置	米ドル	アメリカ	3.9
6	AMERICAN TOWER	投資証券	米ドル	アメリカ	3.8
7	AZELIS GROUP NV	資本財	ユーロ	ベルギー	3.8
8	UNITEDHEALTH GROUP	ヘルスケア機器・サービス	米ドル	アメリカ	3.7
9	VERALLIA	素材	ユーロ	フランス	3.1
10	AIA GROUP	保険	香港ドル	香港	2.8
組入銘柄数				43銘柄	

(注) 比率は純資産総額に対する割合です。

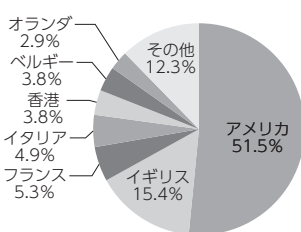
(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。

(注) 国(地域)につきましては、発行体の国籍(所在国)などを表示しております。

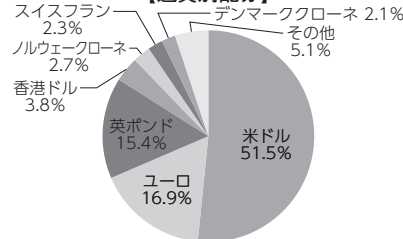
#### 【資産別配分】



#### 【国別配分】



#### 【通貨別配分】



(注) 比率は純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては、発行体の国籍(所在国)などを表示しております。

(注) その他には現金等を含む場合があります。

※当マザーファンドの計算期間における運用経過の説明は運用報告書(全体版)をご参照ください。



### <当ファンドのベンチマークについて>

#### <為替ヘッジあり> (毎月決算型)

ベンチマークとしてMSCIワールド・インデックス (税引後配当込み、円ヘッジベース) を使用しています。基準日前営業日のMSCIワールド・インデックス (税引後配当込み、円ヘッジベース) を用いています。なお、日々ベース開示開始日を100として当社で独自に指数化しています。

MSCIワールド・インデックスは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、日本を含む世界の先進国で構成されています。また、MSCIワールド・インデックスに対する著作権及びその他の知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。

#### <為替ヘッジなし> (毎月決算型)

ベンチマークとしてMSCIワールド・インデックス (税引後配当込み、円換算ベース) を使用しています。基準日前営業日のMSCIワールド・インデックス (税引後配当込み、米ドルベース) を基準日の対顧客電信売買相場仲値を用いて当社で独自に円換算しています。

MSCIワールド・インデックスは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、日本を含む世界の先進国で構成されています。また、MSCIワールド・インデックスに対する著作権及びその他の知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。

### <代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について>

#### ○TOPIX (東証株価指数) (配当込み)

TOPIX (東証株価指数) (配当込み) は、日本の株式市場を広範に網羅するとともに、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークで、配当を考慮したものです。なお、TOPIXに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は株式会社 J P X 総研又は株式会社 J P X 総研の関連会社に帰属します。

#### ○MSCI コクサイ・インデックス (配当込み、円ベース)

MSCI コクサイ・インデックスは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、日本を除く世界の先進国で構成されています。また、MSCI コクサイ・インデックスに対する著作権及びその他の知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。

#### ○MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

MSCI エマージング・マーケット・インデックスは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、世界の新興国で構成されています。また、MSCI エマージング・マーケット・インデックスに対する著作権及びその他の知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。なお、円ベース指数については、委託会社がMSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み、米ドルベース) に、当日の米ドル為替レート (WM/ロイター値) を乗じて算出しています。

#### ○NOMURA - BPI 国債

NOMURA - BPI 国債は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が発表している日本の国債市場の動向を的確に表すために開発された投資収益指数です。なお、NOMURA - BPI 国債に関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社に帰属します。

#### ○FTSE 世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

FTSE 世界国債インデックス (除く日本、円ベース) は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した指数です。なお、FTSE 世界国債インデックスに関する著作権等の知的財産その他一切の権利は、FTSE Fixed Income LLCに帰属します。

#### ○JP モルガン GBI - EM グローバル・ダイバーシファイド (円ベース)

JP モルガン GBI - EM グローバル・ダイバーシファイドは、現地通貨建てのエマージング債市場の代表的なインデックスです。円ベース指数については、委託会社がJP モルガン GBI - EM グローバル・ダイバーシファイド (米ドルベース) に、当日の米ドル為替レート (WM/ロイター値) を乗じて算出しています。

指数に関する一切の知的財産権とその他一切の権利はJPMorgan Chase & Co.及び関係会社 (「JP モルガン」) に帰属しております。JP モルガンは、指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。JP モルガンは、指数の正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、ファンドを推奨するものでもなく、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負うものではありません。